

# 百十四グループ（連結ベース）の営業の概況

## 当中間連結会計期間の業績

### 当中間連結会計期間（2018年9月中間期）

当中間連結会計期間の経済環境につきましては、「当行（単体ベース）の営業の概況」（本誌1頁）に記載のとおりですが、このような経済環境のなか、百十四グループは、銀行業務を中心として地域に密着した営業活動の展開を図るとともに、リース業務などの金融サービスの提供につとめました結果、当中間連結会計期間の業績は以下のとおりとなりました。

- 預金……当中間連結会計期間末の預金残高は、個人、法人及び公共預金がいずれも増加したことにより、前連結会計年度末比555億円増加して4兆130億円となり、譲渡性預金を含めた総預金では、488億円増加して4兆1,026億円となりました。
- 貸出金……当中間連結会計期間末の貸出金残高は、個人向け貸出金が増加しましたが、法人向け及び公共向け貸出金が減少したことにより、前連結会計年度末比244億円減少して2兆8,090億円となりました。
- 有価証券……当中間連結会計期間末の有価証券残高は、債券運用による利息収入の確保に加え、相場変動への機動的な対応によるポートフォリオの収益性向上につとめました結果、前連結会計年度末比1,389億円増加して1兆1,699億円となりました。また、当中間連結会計期間末の「その他有価証券」の差引評価額は、前連結会計年度末比68億円増加して780億円となりました。

#### ○損益

##### 〈経常収益〉

当中間連結会計期間の経常収益は、国債等債券売却益の減少によるその他業務収益の減少などにより、前中間連結会計期間比13億33百万円減少して401億46百万円となりました。

##### 〈経常費用〉

当中間連結会計期間の経常費用は、貸出金償却の増加によるその他経常費用の増加などにより、前中間連結会計期間比2億30百万円増加して326億19百万円となりました。

##### 〈経常利益・親会社株主に帰属する中間純利益〉

以上の結果、当中間連結会計期間の経常利益は、前中間連結会計期間比15億63百万円減少して75億26百万円となり、親会社株主に帰属する中間純利益は、前中間連結会計期間比11億76百万円減少して48億67百万円となりました。

## セグメント情報等

### 【セグメント情報】

#### 1. 報告セグメントの概要

当行グループの報告セグメントは、当行グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当行グループは、銀行業務を中心に、連結子会社においてリース業務をはじめとする金融サービスに係わる事業を行っており、当行及び企業集団を構成する個々の連結子会社がそれぞれ事業計画等を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当行グループは、当行及び個々の連結子会社を基礎とした業務別のセグメントから構成されており、「銀行業」及び「リース業」の2つを報告セグメントとしております。なお、「銀行業」は、預金業務、貸出業務、有価証券投資業務、為替業務等を行い、「リース業」は、連結子会社の百十四リース株式会社において、リース業務等を行っております。

#### 2. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と同一であります。

なお、報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部経常収益は、第三者間取引価格に基づいております。

#### 3. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

##### 前中間連結会計期間（2017年9月中間期）

（単位：百万円）

	報告セグメント			その他	合計	調整額	中間連結財務諸表計上額
	銀行業	リース業	計				
<b>経常収益</b>							
外部顧客に対する経常収益	37,081	3,284	40,365	1,113	41,479	—	41,479
セグメント間の内部経常収益	153	187	340	1,951	2,291	△ 2,291	—
計	37,234	3,471	40,705	3,065	43,771	△ 2,291	41,479
<b>セグメント利益</b>	7,893	110	8,003	1,104	9,107	△ 18	9,089
<b>セグメント資産</b>	4,800,378	27,127	4,827,505	30,986	4,858,492	△ 38,415	4,820,077
<b>セグメント負債</b>	4,516,052	22,868	4,538,920	9,913	4,548,834	△ 35,204	4,513,629
<b>その他の項目</b>							
減価償却費	1,124	53	1,178	165	1,344	43	1,387
資金運用収益	24,665	73	24,739	223	24,962	△ 303	24,659
資金調達費用	2,994	38	3,032	32	3,065	△ 244	2,820
特別利益	8	18	26	—	26	△ 0	26
(固定資産処分益)	8	18	26	—	26	△ 0	26
(国庫補助金受贈益)	—	—	—	—	—	—	—
(その他の特別利益)	—	—	—	—	—	—	—
特別損失	36	0	36	1	38	—	38
(固定資産処分損)	2	0	2	1	3	—	3
(減損損失)	34	—	34	—	34	—	34
(固定資産圧縮損)	—	—	—	—	—	—	—
税金費用	2,467	41	2,508	333	2,842	15	2,858
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,750	4	1,754	60	1,815	90	1,905

- (注) 1.一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と中間連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。  
 2.「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、クレジットカード業及び信用保証業を含んでおります。  
 3.「セグメント利益」「セグメント資産」「セグメント負債」「減価償却費」「資金運用収益」「資金調達費用」「特別利益」「税金費用」「有形固定資産及び無形固定資産の増加額」の調整額は、セグメント間取引消去であります。  
 4.セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## 当中間連結会計期間（2018年9月中間期）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	中間連結財務諸表計上額
	銀行業	リース業	計				
<b>経常収益</b>							
外部顧客に対する経常収益	35,634	3,497	39,131	1,015	40,146	—	40,146
セグメント間の内部経常収益	451	327	779	1,974	2,754	△ 2,754	—
計	36,085	3,825	39,910	2,990	42,900	△ 2,754	40,146
<b>セグメント利益</b>	6,844	118	6,962	911	7,874	△ 348	7,526
<b>セグメント資産</b>	4,971,340	29,470	5,000,810	20,646	5,021,456	△ 28,679	4,992,777
<b>セグメント負債</b>	4,682,328	25,047	4,707,376	9,200	4,716,576	△ 25,812	4,690,764
<b>その他の項目</b>							
減価償却費	1,319	51	1,371	154	1,525	46	1,572
資金運用収益	23,884	187	24,072	194	24,267	△ 570	23,696
資金調達費用	3,556	39	3,595	28	3,623	△ 177	3,446
特別利益	91	10	102	—	102	△ 0	101
(固定資産処分益)	33	4	38	—	38	△ 0	37
(国庫補助金受贈益)	57	—	57	—	57	—	57
(その他の特別利益)	—	6	6	—	6	—	6
特別損失	160	—	160	12	172	—	172
(固定資産処分損)	66	—	66	12	78	—	78
(減損損失)	36	—	36	—	36	—	36
(固定資産圧縮損)	57	—	57	—	57	—	57
税金費用	2,165	15	2,180	274	2,455	17	2,472
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,928	2	1,930	106	2,036	60	2,097

- (注) 1.一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。また、差異調整につきましては、経常収益と中間連結損益計算書の経常収益計上額との差異について記載しております。  
 2.「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、クレジットカード業及び信用保証業を含んでおります。  
 3.「セグメント利益」「セグメント資産」「セグメント負債」「減価償却費」「資金運用収益」「資金調達費用」「特別利益」「税金費用」「有形固定資産及び無形固定資産の増加額」の調整額は、セグメント間取引消去であります。  
 4.セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

## 【関連情報】

### 前中間連結会計期間（2017年9月中間期）

#### 1.サービスごとの情報

(単位：百万円)

	貸出業務	有価証券投資業務	リース業務	その他	合計
外部顧客に対する経常収益	16,214	14,436	3,284	7,543	41,479

(注) 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

#### 2.地域ごとの情報

##### (1) 経常収益

  当行グループは、本邦の外部顧客に対する経常収益に区分した金額が中間連結損益計算書の経常収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

##### (2) 有形固定資産

  当行グループは、本邦に所在している有形固定資産の金額が中間連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

#### 3.主要な顧客ごとの情報

  特定の顧客に対する経常収益で中間連結損益計算書の経常収益の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

### 当中間連結会計期間（2018年9月中間期）

#### 1.サービスごとの情報

(単位：百万円)

	貸出業務	有価証券投資業務	リース業務	その他	合計
外部顧客に対する経常収益	16,047	13,711	3,497	6,890	40,146

(注) 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

## 2.地域ごとの情報

### (1) 経常収益

当行グループは、本邦の外部顧客に対する経常収益に区分した金額が中間連結損益計算書の経常収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

### (2) 有形固定資産

当行グループは、本邦に所在している有形固定資産の金額が中間連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3.主要な顧客ごとの情報

特定の顧客に対する経常収益で中間連結損益計算書の経常収益の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

### 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

#### 前中間連結会計期間（2017年9月中間期）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	銀行業	リース業	計		
減損損失	34	—	34	—	34

#### 当中間連結会計期間（2018年9月中間期）

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計
	銀行業	リース業	計		
減損損失	36	—	36	—	36

### 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

該当事項はありません。

### 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

該当事項はありません。